



モータースポーツ（二輪）・ウィンタースポーツ（スキー）・
マリンスポーツ（ヨット）をこよなく愛した
故 金丸賢治先生 へ捧ぐ

金丸賢治理事へ

その訃報の一報は何の前触れもなくやってきた。えっ、最近確かに顔を見せる回数もめっきり減って来たような、更に冬には七飯大沼SKI場で金丸さんに会ったよ！との我が父の話もここ2年ばかりなかったような。大先輩に向かって若輩者の私が故人の生き様を述べるのも烏滸がましいが、心身共に強靱なパワーの持ち主で、海に山に陸にその趣味も多才で、やるといったらやる！買うと言ったらとことん自分が満足するまで手に入れる。糸目をつけないその剛健さは誰もが認める存在であった。

また、政治にも関心があり、私がおその関係に少しかじっている事を知ってか、朝早く何度も電話で起こされ「今の民主党のあのマークはなんだ！高期高齢者医療制度はどうなってるんだもって年寄りを大事にしなければダメだ」等何度もお叱りを受けた。一方自由闊達な性格で小さな問題にも異を唱える事もなく全てに強力的に事を進める存在であった。

ヨット歴は昭和57年に入会、その後様々な役職に就き当協会の発展に寄与した功績は実に重い物がある。

自分のやりたいことをやり、欲しい物はとことん手に入れた。その人生を太く長く自分流で貫いたのも、その影では奥さんを愛し家族を大切にされた事は言うまでもないと察する。

棺に納められたそのお顔はややほほえんでいるようで「みなさんご機嫌よう」と・・・
安らかに眠り下さい。82歳没

GAROPPER石川

金丸大明神どの

ここしばらくお会いしてませんでしたね。「フィッシャーII」を手放したころ。少しは心配しておりましたよ。

はじめてお会いしたのは金沢造船でしたかねえ。もう30年も前のころでしたね。大好きなバイクに乗って来ていましたっけ。ヨットを新造するとのことでビルダーだった畑中さんもいて、みんなで夜遅くまで飲みましたね。あのころは拙らも若くて（30年も前だからあたりまえだ）よく一緒に飲んで騒いだものでした。

森町の自宅におじゃまして飲んで騒いだこともありましたがね。バイクはナナハン、スキーは指導員と中途半端が嫌いな人でした。ヨットも人一倍頑丈に舫ってましたね。

そちらにいったらなにをするのかな？ゆっくり休んでまた好きなことやってください。

LUCIA熊谷

金丸先生の挑戦状

20年近く前、金丸先生から挑戦状を受け取った事がある。和紙の巻物に毛筆で書いた本物である。

当時乗っていたBW24とフィッシャーのどちらが早いかなということであった。その後意気投合し、人手の少ない者同士交互にチームを組み、魚肉ソーセージをほおぼりながらレースに出るようになった。有るとき風がなく、最終マークを廻航しようとしたとき、当時シンドのメンバーだった藤盛さんのお父さんが目の前でマークを上げてしまった。「おーい、そのマークまだ廻るどー」と叫んでようやく最終マークを廻った。どっしりとしたフィッシャーならではの。

ところで、フィッシャーという名前は漁をする人かと思っていたが、あるとき聞いたならスキーマーカーのフィッシャーから取った名前だと知った。確かに、金丸先生のお宅には金具の付いていないスキーの板が沢山あった。スキーもこよなく愛していた先生であった。

金丸先生の思い出は尽きることがない。挑戦状の結末は実はまだ付いていない。いつの日かまたどこかで勝負しましょう。

KINAMBO増田

前述を見ると50歳過ぎからヨットを始められたようですが、入会当時からすでに古株の風貌でヘルメットが良くお似合いです。

じつは、PEGASUSも毛筆の挑戦状を受けた一艇である。軽く一蹴したのは当然のことである。が、しかし一度で懲りず何度も立ち向かってきたと言う記憶が残っている。小柄な身体で立ち向かう姿は、まるで昭和のドンキホーテの様である。

愛嬌のある笑顔、耳に残るなまり、強者にむかう闘志 全てが金丸イズムでした。

合掌